

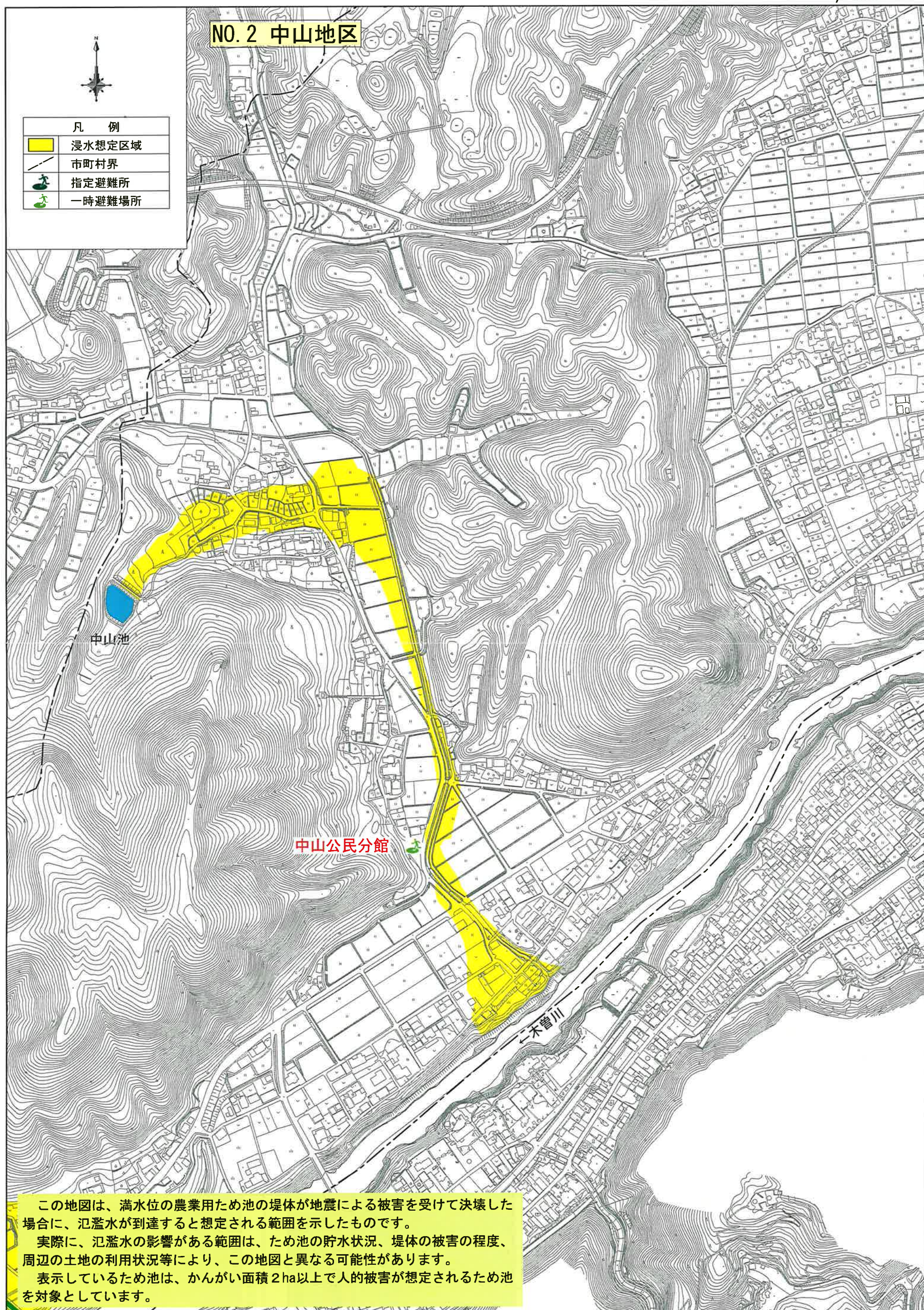
八百津町 ため池ハザードマップ

1:5,000

N0.2 中山地区



凡 例	
	浸水想定区域
	市町村界
	指定避難所
	一時避難場所



この地図は、満水位の農業用ため池の堤体が地震による被害を受けて決壊した場合に、氾濫水が到達すると想定される範囲を示したものです。
実際に、氾濫水の影響がある範囲は、ため池の貯水状況、堤体の被害の程度、周辺の土地の利用状況等により、この地図と異なる可能性があります。
表示しているため池は、かんがい面積2ha以上で人的被害が想定されるため池を対象としています。

ため池の役割

ため池は、八百津町内の農地をかんがいするために造られた貯水池です。
現在は、農業用水の利用のほか、防火用水としての利用や人命・住宅・農地・道路などを洪水から守るための洪水調整機能を備えています。また、美しい景観や親水空間を提供するとともに、水辺の生物多様性を支える重要な役割を果たすなど、豊かな多面的機能を有し、地域の大切な施設となっています。

ため池の規模



名称	堤高 H (m)	総貯水量 V (m ³)	最大流出量 Qmax (m ³ /s)	流出 継続 時間t (分)
中山池	5.10	9,700	91.941	4

避難場所

一時避難場所			
名称	電話番号	名称	電話番号
中山公民分館			

浸水区域図作成の条件

堤体決壊条件
本ハザードマップは、堤体が満水時に決壊した場合の浸水状況を記載しています。地震時の決壊は、瞬時に起こると仮定し、解析を行っています。
堤体決壊時の最大流出量と流出継続時間
堤体が決壊したときを想定した最大流出量と流出継続時間は、左表の通りです。
浸水想定区域の仮定
浸水区域は、流下する地域の地形条件に、堤体決壊時の最大流出量を与え、降雨量はゼロとしてシミュレーションにより求めたものです。 浸水に与える流量は、ため池の総貯水量のみとして、河川には水がないものとして浸水範囲を解析しています。 大雨による決壊の場合には、この浸水想定区域に加え、降雨および河川の水量が加わってきますので、浸水区域がさらに広がる可能性があります。

地震および豪雨による堤体の決壊

地震および豪雨により堤体が決壊する被災形態、及びその被災メカニズムは下記のことと想定されています。
堤体の異常に気がついたら、防災関係機関などに緊急連絡するとともに、浸水想定区域の外に退避するようにしてください。

地震により堤体が決壊		豪雨により堤体が決壊	
被災形態	被災のメカニズム	被災形態	被災のメカニズム
<クラック> 	堤体の頂部などにクラック（亀裂）が発生する場合があります。堤体の上下流方向に生じるクラック（亀裂）は水みちとなることがあり、特に注意が必要です。	<浸透破壊> 	堤体内部が劣化して、水を遮る機能が低下し、貯水位が上昇したときに堤体の中の水圧も上昇して強度が低下し、破壊する場合があります。 また、堤体内に上流から下流に向かう水みちが発生し、破壊する場合があります。
<沈下> 	堤体の形状をほぼ保ち、クラック（亀裂）などを伴いながら堤体が沈下する場合があります。多くは軟らかい地盤で発生しています。	<すべり破壊> 	貯留した水と降雨が堤体の中に浸透して、堤体内部の水分量が増加し、堤体の法面部の強度が低下することによって、法面部ですべりが発生し破壊する場合があります。
<斜面崩壊> 	堤体法面の上層が沈下し、下部がはらんで変形が生じる場合があります。	<貯水からの浸透> 	
<斜面すべり> 	地震動により堤体の法面にスべりが発生する場合があります。	<越流破壊> 	豪雨により、貯水位が急激に上昇し、堤体を越えて流れ出し、下流斜面を流下することによって、破壊する場合があります。また、貯水位の上昇により、堤体内の水圧も上昇し、強度が低下して破壊する場合があります。
<崩壊> 	堤体や地盤が大きく変化し崩壊する場合があります。決壊に至ることが多く、堤体や基礎地盤の液状化によるものと考えられます。		

緊急時の連絡先

ため池の異常や漏れ、決壊など気づかれた場合は、関係機関等に一報を入れてください。

名称	電話番号	住所
八百津町役場	43-2111	加茂郡八百津町八百津3903番地2

各種情報（インターネット・ホームページ他）

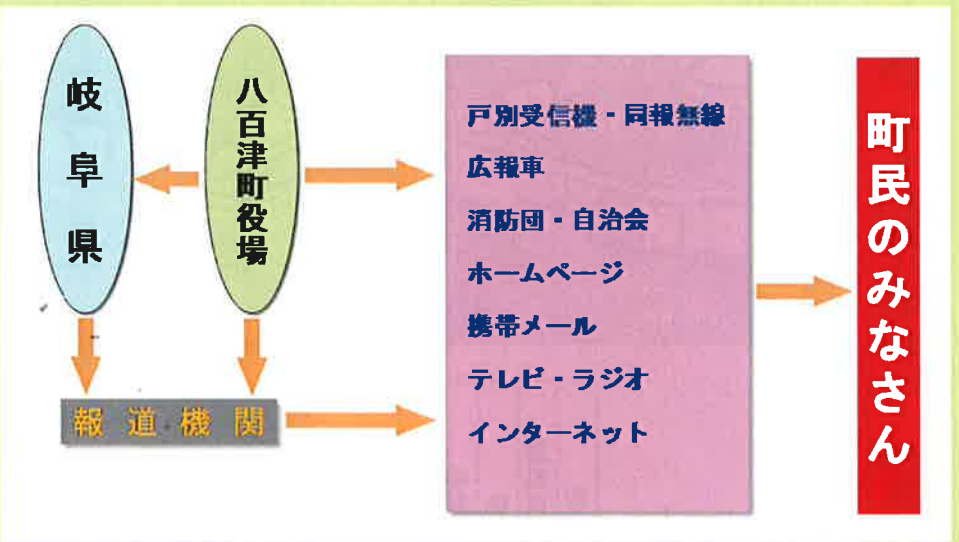
関連項目	アドレス	発信元
防災情報	http://www.town.yaotsu.lg.jp/	八百津町役場
	ent@chat.yaotsu.jp に空メールで登録	
防災・防犯	http://www.pref.gifu.lg.jp/	岐阜県総合防災ポータル
交通情報	http://douro.pref.gifu.lg.jp/	岐阜県
防災気象情報	http://www.jma.go.jp/	気象庁
防災気象情報	http://www.jma-net.go.jp/gifu/	岐阜地方気象台

避難するときの注意事項

地震による堤体の決壊は、予測が難しいうえ、浸水の到達時間が早いので、事前の備えをし、自主的に浸水区域の外に避難できるようにしましょう。
ため池の決壊と、大雨が重なる時は、浸水被害想定範囲が拡大し、水深が深くなる恐れがありますので、注意してください。

日頃からの準備	避難時の注意事項
我が家の避難経路・避難場所 被害が想定される位置を確認し、いざという時の我が家の避難経路、避難場所、連絡方法を家族で決めておきましょう。	動きやすい服装で 丈夫な靴、動きやすい服装で、安全な経路を通して徒歩で避難しましょう。単独行動は避け、二人以上での避難を心がけましょう。
非常持ち出し品の事前準備 荷物は最小限の物にし、いつも取り出しやすい一定の場所に保管しましょう。保存期間等注意到意し、交換・補充するようにしましょう。	浸水は、浅くても危険 水深がヒザまで来ると、歩くことが困難になります。水深が浅くても、流れに勢いがある場合には、むやみに歩き回することは避けましょう。
浸水想定区域外への避難 火元確認を 避難する前に、電気のブレーカー、ガスの元栓、ストーブのスイッチを切るなど火元を消しましょう。	万が一、逃げ遅れたときは 万が一、避難が遅れ、危険が迫ったときは、高い所へ逃げましょう。
自主避難を 大きな揺れ（屋内では、棚にある食器類が落ちる。屋外では、電柱が揺れる等）があり危険を感じたら、自主的に避難しましょう。	

情報の伝達経路



この地図は、農村地域防災減災事業に基づき、岐阜県が作成したものです。
岐阜県可茂農林事務所
〒505-8508
美濃加茂市古井町下古井2610-1 可茂総合庁舎3F
TEL 0574-25-3111（代）